

持続可能な社会をつくる、ということは、次の世代に豊かな環境や資源、どこにいてもすべての子どもの権利が守られる社会を残していく、ということです。2015年、国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択され、2030年のゴールに向けて、世界は「誰ひとり取り残さない」ために、様々な側面から社会がよりよく、持続可能なものであるよう、取り組んできました。

しかし、今、世界の子どもたちは本当に取り残されていないのでしょうか？

1 貧困をなくそう



©UNICEF/UN0513043/Dejongh

6人に1人(3億5,600万人)

世界では、「極度にまずしい」暮らし(1日1.9米ドル以下の生活)をしている子どもたちがいます。

3 すべての人に健康と福祉を

©UNICEF/UN0407853/
Viet Nam\Truong Viet Hun

6秒に1人(520万人)

世界では、5歳の誕生日を迎えることが出来ずに命を落としている子どもたちがいます。

4 質の高い教育をみんなに



©UNICEF/UNI261572/Matas

5人に1人

サハラ以南のアフリカ地域、西アジア地域、南アジア地域では、小学校に通えない子どもたちがいます。

5 ジェンダー平等を実現しよう



©UNICEF/UN0293218/Llaurado

男の子の約2倍

世界では、6歳から11歳の子どものうち、一生学校に通うことができない女の子たちがいます。

新型コロナウイルスが落とした影

SDGsの採択から6年。2020年には世界中に新型コロナウイルス感染症が影を落としました。2021年11月29日時点で、世界中で約2億6,000万人の感染が確認され、約520万人が命を落としています(WHO状況レポートより)。新型コロナウイルス感染症によって、多くの子どもたちが脆弱な立場に立たされています。

- 2020年、2,300万人の子どもが定期予防接種による基本的なワクチン接種を受けられませんでした。
- 休校措置により教育の機会を奪われている子どもは1億5,000万人以上にのぼります。
- 2020年は全人口の約9.9%が栄養不足だったと推定され、2019年の8.4%から増加しています。また、栄養不足の人々の3分の1以上(2億8,200万人)はアフリカに住んでおり、栄養不足の割合は人口の21%と、他の地域の2倍以上になっています。



©UNICEF/UN0411893/Kiron

子どもの保護について議論する
各地域の宗教指導者たち

2018年にバンコク
で行われた会議で、
各地域の宗教指導者の
発表を眺める参加者



©UNICEF/FPCC/2019



©佼成出版社

宗教の力で、 正しい行動に導けるように

「子どものための宗教と前向きな行動変容」イニシアティブは、2018年に設立され、ユニセフと世界中の宗教指導者たちが、子ども、若者、女性など最も脆弱な立場にある人々に対して、社会・行動変容を促すことを目指しています。

宗教の垣根を超えて、コロナに立ち向かう！

2020年2月、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受けて、「新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための諸宗教の行動イニシアティブ」が打ち出されました。このイニシアティブは、各国の宗教指導者たちを動員し、コロナ禍、オンラインでの研修や啓発資料の配布、集会でのメッセージの拡散など新型コロナウイルス感染症への対策を支援しています。



エジプト

©UNICEF/UN0534655/Mostafa

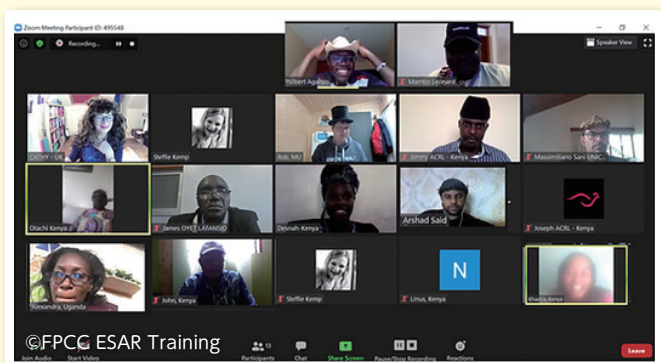
地域の集会で、新型コロナウイルス感染症への対策を呼びかける宗教指導者



ナイジェリア

©UNICEF/UN1322716/Haro

コロナウイルスは熱に弱い、あるいは、ワクチン接種は効果がないなどの誤った情報や噂に対処するために、広報・啓発活動を行いました。家庭訪問をしてコロナへの啓発メッセージを伝える地域のリーダー



宗教指導者たちが知識、課題、経験を共有するための定期的なオンライン研修も実施されました。



いちじき
一食を捧げる運動

wakachiai
sharing meals for friends

立正佼成会は、「一食ユニセフ募金」を通じてユニセフの活動を応援しています。募金は、リベリア、ミャンマーにおける世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)との子どもの保護事業及び緊急支援事業に役立てられます。 <https://ichijiki.org/>

We Support

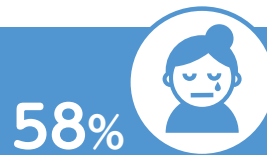
unicef



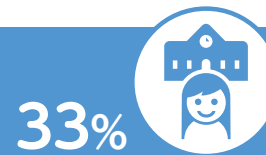
データ出典はすべて『世界子供白書2021』



1,000件の出生に対して、
5歳の誕生日を迎えられない
子どもの数。



パートナーがいたことがある15~19歳の女
子のうち、親密なパートナーから過去12カ
月以内に身体的暴力・精神的暴力のいづれ
か、もしくは両方を受けたことのある割合。

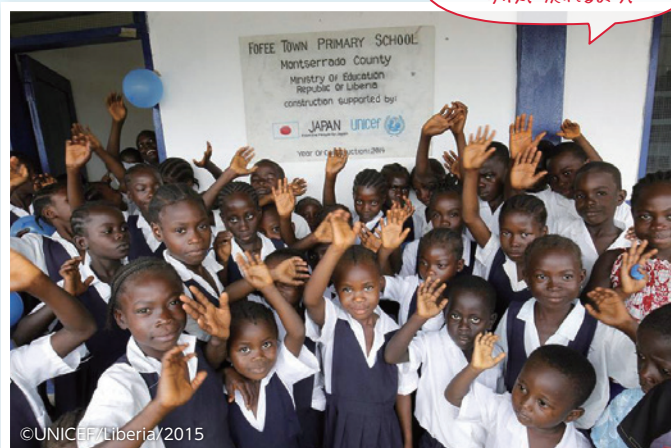


小学校を卒業する女の子の
割合。さらに、中学校を卒業
する女の子はわずか23%。

すべての子どもたちをあらゆる暴力から守る

西アフリカに位置するリベリアでは、2003年まで内戦、2014年から2016年にかけて大流行したエボラ出血熱の影響で、8,000人以上の子どもたちが保護者を失った、とされています。ユニセフと立正佼成会では、2010年からリベリアにおいて脆弱な立場に置かれた子どもたちが学校に通い続けられるよう、またあらゆる暴力から守られ、女の子たちが自立できるように取り組んでいます。

エボラ孤児の子どもたちが
学校に戻れるように



©UNICEF/Liberia/2015



©佼成出版社

同級生たちの問題を
一緒に解決する
パディ・システム※を通じて、
問題を話し合う様子



©UNICEF/UN0533188/

女の子たちに
職業訓練を提供して
自立のサポート



©佼成出版社

宗教の力を使って、
子どもに対する暴力
をなくすメッセージ
を発信！



レイチェル(18)

©UNICEF/Liberia 2021/Omar

Story

モンロビアで裁縫のクラスに通っています。このセッションは裁縫についてスキルを教えてくれるだけでなく、キャリアの相談や、心理社会ケアについてもサポートしてくれます。このセッションに通うようになって、地域の若い女の子たちが暴力や搾取の危険に晒されている現実気が付きました。今は同年代の子どもたちのロールモデルとなれるよう、また、ビジネスを立ち上げて生計を安定させ、学校に通い続けることができることを願っています。



出典はすべて『世界子供白書2021』



1,000件の出生に対して、
5歳の誕生日を迎えられな
い子どもの数。



何かしらの体罰を経験し
ている14歳以下の子ども
の割合。



2020年、新たに国内避難民になった18歳未
満の子ども。子どもを含む12万人が2020
年、家を逃れて国内に避難したとされ、その
原因は紛争や暴力が58%、自然災害が42%。

新型コロナウイルス、ミャンマー軍の占拠、更なる危機 にさらされる子どもたち



東アジアに位置するミャンマーでも新型コロナウイルス感染症が拡大し、11月29日時点で52万人以上の感染が確認されています。また、感染拡大が始まった2020年3月以降、州をまたぐ往来が禁止され、学校も閉鎖されたままです。これによって、1,250万人の子どもが、今も学習の機会を得られていません。

また、2021年2月1日にミャンマー軍の占拠により、ミャンマーの子どもたちは更なる危機にさらされています。子どもたちは命を落としたり、負傷したり、暴力を目の当たりにしています。45万人の子どもを含む100万人以上が、今回の軍事占拠の影響を受けており、ジェンダーに基づく暴力、搾取、虐待、家族との別離や人身売買などのリスクにさらされています。

大変な時代だからこそ、すべての子どもが守られるように

立正佼成会とユニセフは2019年からミャンマーで支援活動を開始しました。新型コロナウイルス感染症や軍事占拠によって影響を受ける中ではありますが、子どもの保護に関するオンライン研修を実施したり、SNSでの対話プラットフォーム“embracing diversity(多様性を受け入れる)”を設置して対話を促したりしています。また、そのための教材の作成も行っています。

支援地域に関しては、カチン州、ラカイン州に加えて、新型コロナウイルス感染症や暴力の激化によって子どもの保護や青少年へのストレスに対応するニーズが増加したことを受けて、シャン州北部でも活動を開始し、宗教ならではのネットワークを活用して、すべての子どもが守られるよう、引き続き取り組んで参ります。

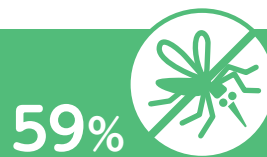




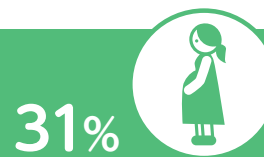
出典はすべて『世界子白書2021』



1,000件の出生に対して、
5歳の誕生日を迎えられな
い子どもの数。



マラリアから守るための殺
虫剤処理をほどこした蚊帳
の下で眠る子どもの割合。



18歳になる前に出産をし
ている女の子の割合。

すべての子どもの健康な未来のために、 たくさんのご支援ありがとうございました！

2014年からご支援いただいたシエラレオネ事業は、2021年末をもって活動を終了します。5,000人以上の宗教指導者に研修を行ったり、200万人以上にメッセージを伝えることができました。とくに児童婚や予防接種など、「習慣」や保護者の意識づけが欠かせない場面で、宗教指導者の皆様には礼拝や集会でメッセージを届けていただきました。立正佼成会によるご支援は一区切りですが、ユニセフ・シエラレオネ事務所は引き続き、シエラレオネの子どもたちが健康に成長できるように、活動に取り組んで参ります。



代表のメッセージ



ユニセフ・シエラレオネ事務所 代表
スレイマン・ブレイモー

立正佼成会の皆さまのご支援により、8,000人以上の宗教指導者が、シエラレオネの16地区で啓発や保健ケアの行動変容を促し、子どもの健全な成長のために必要な活動を行うことができました。例えば、児童婚の婚礼儀式をモスクや教会で行わないとする宗教指導者のメッセージは児童婚の根絶へ向けての大きな一歩となりました。また、宗教指導者は、完全母乳育児、定期的な予防接種、石鹸による手洗い、殺虫剤処理をした蚊帳の使用など保健衛生面での行動変容を促すメッセージを広げ、児童婚、ジェンダーに基づく暴力、学校での体罰、いじめ、育児、暴力や搾取からの保護など、様々な課題に対して世代を超えた対話の場をつくり、住民と解決策を探っています。新型コロナウイルス感染症予防のメッセージも住民に届けることができました。多くの成果をあげることができた立正佼成会様とのパートナーシップに感謝申し上げます。ありがとうございました。

SIERRA LEONE

シエラレオネ

すべての子どもが守られるための メッセージを広める



©IRC SL Sierra Leone/2020.

計4回の定例オリエンテーションが開催され、栄養やHIVなどの健康に関する行動、子どもの保護、幼児期の発達、女子教育に関するテーマについて議論しました。また、メンタリング（人材育成）を行い、コーディネーターが適切なメッセージを各地域で伝えられているか、直面している課題や学びなどを共有し、コーディネーター間の連携を行いました。



©UNICEF/UNI185560/Mason

予防接種で命を守る！

ユニセフとシエラレオネ諸宗教評議会は、320万人の子ども（9～15歳）を対象とした麻疹・風疹などの全国啓発キャンペーン（2019年6月）や、180万世帯を対象としたマラリア予防キャンペーンとマラリア予防のための殺虫剤処理を施した蚊帳の配布（2020年5～6月）などを共同で行ったり、2021年には85万人の地域住民に対してポリオの予防接種キャンペーンを行い、140万人の子どもがポリオの予防接種を受けることを支援しました。このように、全国規模の保健キャンペーンに宗教指導者との連携を定着させることができました。

まずは家族の意識を変えることから！

2018年以降、8,000人以上の宗教指導者からのメッセージ発信を通じて、240万人以上の保護者や地域住民に子どもの保護、新型コロナウイルスやエボラ出血熱の啓発メッセージや健康習慣に関するメッセージを教会やモスクなどで伝えてきました。



©UNICEF/UN0475698/Duff/VI Photo

新型コロナウイルス感染症に関するメッセージ

宗教指導者は、新型コロナウイルス感染症においても予防的なメッセージを広めるのにとても重要な役割を担ってきました。メッセージを伝えることは必ずしも簡単ではありません。地域住民は感染症についてテレビやインターネット、近所の噂話などで聞いており、既に自分で知りえた情報から「どうすべきか」をわかっているつもりだったので、住民に聞く耳をもってもらうことは非常に困難でした。シエラレオネ諸宗教評議会は、礼拝で予防方法について触れることを義務化するなど、啓発メッセージの見直しを行いました。これによって、状況は改善しました。



©UNICEF Sierra Leone/2021/Mason

子育ては社会全体で一緒に！

祈禱や礼拝、宗教儀式、集会などの伝統的な活動場所以外にも、宗教指導者は341回のラジオ番組に出演して、積極的に対話の機会を設けました。ラジオ番組は全国16のラジオ局から放送され、200万人もの人々に届きました。ラジオ番組では、リスナーは電話で参加し、テーマによって参加しているパネリストが回答する形式で行われました。



©UNICEF Sierra Leone/2021/Mason

Story



©UNICEF Sierra Leone/2021/Mason

皆さん、こんばんは。ようこそ、今週の Inter-Religious Council Hour（諸宗教の時間）へ。モヤンバからライブ配信しています。新型コロナウイルス感染症から身を守るために、衛生面に気をつけ、マスクをし、人混みを可能な限り避けることが必要です。一緒にコロナを乗り越えて、日常を取り戻しましょう。

ラジオブースでリスナーに呼びかけるシエラレオネ諸宗教評議会のプログラム・コーディネーター、アウグスティヌス・プリマさん。この日のトピックは「どうやって新型コロナウイルス感染症から自分たちの身を守るか」でした。



立正佼成会は、「一食ユニセフ募金」を通じてユニセフの活動を応援しています。募金は、リベリア、ミャンマーにおける世界宗教者平和会議（WCRP/RfP）との子どもの保護事業及び緊急支援事業に役立てられます。 <https://ichijiki.org/>

We Support

